**今年度の目標成果物（案）**

1. **お仕事応援マップの更新**

相談支援部会とのプロジェクトとして活動致します。就労支援部会は情報収集を中心に行いたいと思います。現在のお仕事応援マップに多くの機能を追加することは難しいと判断します。今年度は車イスでの利用（送迎含む）の可否、マッチングしやすい障がいの種別を追加したいと思います。以降、年度を重ねながら少しずつブラッシュアップしていく事が出来ると良いかと思います。

1. **障がいのある方の就労を考える３か月間**

９月に当事者向け（放デイ利用中児童・保護者等含む）就労説明会を開催。

10月に企業向け障がい者雇用促進説明会を開催。

11月に合同企業説明会を開催。

3か月間をかけ、地域で困っている人、知りたい人を掘り起し、企業が持つ不安を少しでも低減できる下地を作ったうえで、合同企業説明会を実施。

当事者向けの就労説明会は、「児から者」に切り替わる人たちへこれからを知ってもらう良い機会となると思います。こども部会とのプロジェクトにも出来そうです。

1. **就労系事業所が抱える課題の整頓（サビ管専門コース別研修）**

部会員が抱える課題や事例等を洗い出し、就労系のサビ管専門コース別研修構築に役立てるような提言を行う。

1. **部会員獲得**

まず、今年度の取り組み内容を確認し、一緒に取り組んで欲しいと伝えていくような広報活動を行う。「障がいのある方の就労を考える3か月間」は良い目玉となると考えられる。当事者向け就労説明会は利用者確保の観点から参加事業所にメリットがある。また、企業向け説明会であれば、就労先を確保する観点からいけば、特に移行支援にメリットがある。あくまで現時点ではたたき台であるが、参加する事のメリットは伝えられるように思う。いち早く計画を策定し、チラシの作成等で就労支援部会への参加を促せるようにしたい。

1. **その他**

サビ管の集いである「サビ会」の再結成。（楽しそう）

雇用促進のための機関設置（案）

今年度の目標成果物はこれらと致します。やる事をさらに細分化して、相互の協力で出来る部分をそれぞれに担ってもらい、効率的に形にできればと思います。

みなさまのお力が必要です。何卒よろしくお願い申し上げます。

**長文を避けたい人用まとめ**

**５月**

お仕事応援マップ情報収集開始・部会員獲得活動

**６月**

お仕事応援マップ情報収集・就労を考える３ヶ月間準備開始・部会員獲得活動

**７月**

お仕事応援マップ編集開始、情報収集継続・就労を考える３ヶ月間準備・当事者向け就労相談会準備開始・部会員獲得活動

**８月**

お仕事応援マップ最終調整段階・当事者向け就労相談会準備・部会員獲得活動

**９月**

当事者向け就労相談会最終調整、実施・企業向け説明会準備開始・お仕事応援マップ広報開始・部会員獲得活動

**１０月**

企業向け説明会最終調整、実施・合同企業説明会準備開始・お仕事応援マップ広報・部会員獲得活動

**１１月**

合同企業説明会最終調整、実施・お仕事応援マップ広報・部会員獲得活動

**１２月**

サビ管専門コース研修課題、事例収集開始・お仕事応援マップ広報・部会員獲得活動

**１月**

サビ管専門コース研修、提言内容決定・お仕事応援マップ広報・部会員獲得活動

**２月**

部会員獲得状況の確認・今年度の振り返り

**３月**

今年度成果物の報告・翌年度取組内容の決定

今年度のおおよその流れとなります。さっと把握したい場合はこちらをご活用下さい。

1. お仕事マップの更新について

お仕事マップの更新については、アンケートでも使用しました「グーグルフォーム」を利用する事で比較的容易に情報収集が可能と考えます。今年度は手始めとして現在のお仕事マップを踏襲した形で「車イスでの利用可否」「マッチしやすい障がい種別」を追加して更新しようと思います。時間的余裕があればさらに追加情報も考えます。

必要となる行程（我々で取り組む事）

■情報収集

　・収集活動の周知

　・収集状況の進捗確認

　・未提出事業所への催促

■編集

　・冒頭フローチャートの更新（定着支援の追加等）

・紹介ページデザイン

■完成後の周知

　・相談支援部会への周知

　・その他必要な機関等への周知

対象事業所

自立訓練：11事業所　就労移行：22事業所　A型：30事業所　B型：39事業所

定着支援：7事業所　延べ109事業所

A４に2事業所入れたとしても、紹介ページのみで55ページの大容量です。編集そのものは紹介ページをテンプレート化し、グーグルフォームで集めた情報を該当箇所へコピー&ペーストする形で、それほど手間をかけずに作ることはできるかと思われます。

また、相談支援部会とのプロジェクトとして取り組みます。相談支援部会で手伝ってもらえる部分などを確認する予定です。

お仕事応援マップに関しては、今年度はあくまでも情報の更新を目的として取り組みたいと考えております。来年度以降、さらに必要なことを考えていきます。

**②障害のある方の就労を考える３ヶ月間**

今回、目玉としたい成果物です。合同企業説明会の再開から派生したものとお考え下さい。３ヶ月間と言う事で、３ヶ月にわたり取り組みを行います。合同企業説明会をより深めるための仕掛けです。「障害のある方も安心して仕事ができる宮崎市」を作っていく活動です。

■1ヶ月目　「当事者向け就労相談会」の開催

対象者のイメージ

・引きこもりで社会と隔絶してしまっている当事者の方、その家族

　・放課後等デイサービス等を利用している児童、その家族

　・宮崎市自立相談支援センター等の利用者

　・精神科デイケア等の利用者

目的

社会復帰されたい方、これから就労に向けて動き出したい児童、その他支援が必要でありながら、その支援にスムーズに繋がっていない方々に対してこの相談会を開催し、接点を持ってもらう。そして多様な就労系障がい福祉サービスやその他地域資源を知ってもらう事で、将来の就労に向けて明確なビジョンを持ってもらう事を目的とする。

伝えたい内容

・就労系の障がい福祉サービスの種類や地域資源の役割を正しく理解してもらう。

・それぞれのサービスにおける支援内容等を伝える。

・ナカポツ等、障がい福祉サービス事業に含まれない公的支援について伝える。

・障がい者就労の事例等を発表し、現状を伝えていく。

・障がい福祉サービスの利用の流れについて伝える。

・合同企業説明会の実施について伝える。

市民プラザ４Fギャラリー（200名程度収容可能）にて開催。（案）

開催内容についてはこれから吟味していく。（アンケート・メール等を利用）

企画立案については大歓迎です。遠慮なくどうぞ。

1ヶ月目は「地域で困っている・悩んでいる方の掘り起し」「児から者のスムーズな移行」がテーマです。

■2ヶ月目　「企業向け障がい者雇用促進説明会」の開催

対象者のイメージ

・障がい者雇用で「困り」を抱いている企業

・規模が大きくなり、障がい者雇用へ臨む必要が出てきている企業

・障がい者雇用についてまず知りたい企業

目的

　これから障がい者雇用に取り組む企業、あるいは現在雇用している障がい者への対応等に困り感を抱いている企業へ対し、障がい福祉サービス、地域資源、その他助成金等のサポートがある事を伝え、安心して雇用する事が出来る下地を形成する。

伝えたい内容

・就労移行支援、就労定着支援等、企業と一緒に取り組む支援がある事を伝える。

・ナカポツ等の相談できる先がある事を伝える。

・特定求職者雇用開発助成金等、経済的メリットを伝える。

・障がい者雇用の成功例や失敗例等、雇用事例を使い、実態を伝えていく。

・合同企業説明会の実施について伝える。

集まった企業数に応じ、市民プラザ内の会場を選定

開催内容についてはこれから吟味していく。（アンケート・メール等を利用）

企画立案については大歓迎です。遠慮なくどうぞ。

２ヶ月目は「企業が安心して障がい者雇用に臨める下地作り」がテーマです。

就労移行支援事業所等が多くの企業とつながる事が出来る機会としても有用かと思います。

■３ヶ月目　「合同企業説明会」の開催

対象者のイメージ

・就労移行支援を利用中の方

・障害雇用に臨みたい企業

・その他障がい当事者で就労を望んでいる方

目的

就労を望む当事者の方と、障がい者雇用に臨む企業が接点を持ち、お互いをよく知る事が出来る機会を設ける。それをもって、お互いがさらに具体的に「就労」と「雇用」を考えられる環境をつくる。面接としてではなく、就労先の事をより詳しく知る、当事者の事をより詳しく知る機会として提供する。

伝えたい内容

・現時点で障がい者雇用に取り組みたい企業との接点を持つことが出来る。

・後日、応募したい方についてはハローワークを通じて正式に応募出来る。

・企業の事をより詳しく知る事が出来る。

・当事者の事をより詳しく知る事が出来る。

・当事者向け・企業向けの説明会を経る事でより深い相互理解に繋げたい。

市民プラザ４Fギャラリー（200名程度収容可能）にて開催。（案）

③サビ管専門コース別研修に係る課題・事例提言

就労支援部会としてできる事の一つとして、市等公的機関への提言がございます。これからサビ管の任意研修である専門コース別研修も開始されます。

初めての取り組みでもあるため、何を持って専門コース別研修となるのか、手探りの状況で開始されていく事でしょう。また、就労とひとくくりにされたとしても、就労系サービスは４つに分かれており、それぞれに多様な課題があるかと思われます。

部会としては、これら就労系サービス毎の課題の洗い出しを行い、事例を出し、この専門コース別研修に必要とされるものを把握して、実施者へ伝えていく事が出来ると思います。

取組の内容

・各サービスにおける課題の洗い出し

・課題における事例等の提供

・整頓された課題や事例から見えてくる研修に必要とされる内容の検討

・検討した内容を研修実施者へ提言する

部会員にとどまらず、各事業所へ課題の聞き取り等を行います。

④部会員獲得

就労支援部会への参加を促すにあたり、今回取り組む「障がいのある方の就労を考える３ヶ月間」などの目玉となる活動を前面に打ち出し、一緒に取り組んでもらえないか打診していくような方法が良いかと思います。そのためには日程を早急に決定し、チラシ等を使った広報活動が有用であると考えます。また、お仕事応援マップについても、広報に使える良いツールかもしれません。

⑤その他

　「サビ会」の再結成については、サビ管にしかわからない苦労など分かち合う場面や、相互にわからない事を補いあう事が出来る勉強会としての側面を持つと思われます。ぜひとも取り組みたい内容です。

「雇用促進のための機関設置」については、まずはアイデアを出し、実現可能かどうかをしっかり吟味していく必要があります。今年度は（案）を作る事に注力します。

さいごに

みなさま、ご自身のお仕事がお忙しい中、ご参加頂きまして誠にありがとうございます。

どんな事でも言えますが、何かを得るためには、目標設定が必要です。そしてそれを達成するためには計画が必要です。

我々は普段、別々に仕事をしています。常日頃、お話が出来るならば良いのですが、そういうわけにはいきません。なかなか共有する場面がございません。

そういった環境であったとしても、私は出来るだけ円滑に、かつ、効率的に成果物を得るために「目標」と「計画」を作らせていただきました。

みなさまにお伝えする時点ではあくまで案なので、またご意見を頂けたらと思います。全てに参加頂く必要はございません。しかし、この中にみなさまが持っているスキルが生き、注力できる目標があるかと存じます。その場面で一緒に成果物を得られればと思います。

長くなって申し訳ございません。暑苦しいかもしれません。それでも、やらなければ。

障がいを持った方たちが安心して働ける地域をつくる事が就労支援部会の使命だと思います。全体の音頭はとっていきます。それぞれの目標においては、音頭をとってもらう方を選ばせてもらうかもしれません。みなさま、何卒ご理解とご協力、よろしくお願い申し上げます。

就労支援部会

甲斐　大地